

# 掲示板

皆さんの頁です。研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、不用品の贈呈・交換・求文献などにご利用下さい。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ [www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/keijiban.html](http://www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/keijiban.html) をご参照下さい。

なお、内容などが変更となる場合がございますので、最新の情報は掲載元の HP などをご確認ください。

## 公益財団法人 UBE 学術振興財団 第 64 回奨励賞募集のお知らせ

UBE 学術振興財団 (旧宇部興産学術振興財団) は、宇部興産初代会長渡辺剛二翁の「わが国の学術研究を援助することによって学術文化の発展に寄与する」という遺志を継ぎ、これまでに合計 433 名の若手研究者に奨励賞を贈呈してきました。今年度も学術奨励賞 23 件以内 (援助金: 100 万円/件)、渡辺記念特別奨励賞 2 件以内 (援助金: 120 万円/件) を募集します。本財団は有機化学、無機化学、高分子化学、機械・計測制御・システム、電気・電子、医学を含む幅広い自然科学分野での活躍が期待され、また研究費が不足している若手研究者へ奨励賞を贈呈します。なお、近い将来に成果が期待できる開発研究だけでなく、将来を支える基礎研究も大きな対象としております。当財団は研究助成により、優れた科学技術の創成に少しでも貢献できればと願っております。奮ってご応募下さい。募集期間: 2023 年 9 月 1 日 (金)~11 月 30 日 (木)。詳細は財団 HP をご参照下さい。公益財団法人 UBE 学術振興財団 HP ([http://www.ube.co.jp/ube\\_s\\_zaidan/](http://www.ube.co.jp/ube_s_zaidan/))

## 公益財団法人長瀬科学技術振興財団 2024 年度研究助成募集要綱

長瀬科学技術振興財団では 2024 年度研究助成の募集をしています。詳細は下記 HP をご参照下さい。助成

対象: 有機化学および生化学、ならびに関連分野において申請者が主体的に進める研究。助成額: 1 件 300 万円 25 件程度。応募方法: 当財団 HP の「助成金事業」にある、「Web 応募」ページから応募して下さい。募集期間: 2023 年 9 月 1 日 (金)~11 月 1 日 (水) まで (期限厳守)。連絡先: 550-8668 大阪市西区新町 1-1-17 公益財団法人長瀬科学技術振興財団 電話 (06) 6535-2117 FAX (06) 6535-2160 <https://www.nagase-f.or.jp/>

## 石油学会 2024 年度研究助成公募

対象: 石油、天然ガス、石油化学関連の目的基礎研究および応用的研究ならびに開発。応募資格: 日本国内の大学、工業高等専門学校など研究機関に所属する若手研究者およびこれに準ずる者で、2024 年 4 月 1 日現在で 40 歳未満の者。ただしグループの場合は原則 40 歳未満とする。助成金申請額: 1 件 100 万円以下 (設備品費は 40 万円を超えないこと)。交付件数: 原則として年 4 件以内。応募期限: 2023 年 11 月 30 日 (木)。交付決定: 研究助成委員会にて選考を行い、2024 年 2 月下旬本人宛てに通知し、4 月に助成金を交付する。提出書類 (選考書類): 提出書類様式については石油学会 HP (<https://www.sekiyu-gakkai.or.jp/>) よりダウンロードして下さい。問合せ: 石油学会研究助成委員会 101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-8-4 陽友神田ビル 4F

## 第 26 回大学女性協会守田科学研究 奨励賞受賞候補者募集

目的: 本賞は、化学教育者 故守田純子氏からの遺贈金をもとにして、自然科学を専門とする女性科学者の研究を奨励し、科学の発展に貢献する人材を育成することを目的として、1998 年に設けられた。対象: 自然科学分野において、優れた研究成果をあげ、科学の発展に貢献することが期待される 40 歳未満 (2024 年 4 月 1 日現在) の女性科学者を対象として表彰する。授賞: 年 2 件以内。賞状および副賞 50 万円を贈呈。募集要項の詳細は、HP (<https://www.jauw.org/scholarship-information/moritakagaku/>) を参照のこと。応募締切: 2023 年 11 月 20 日 (月)。問合せ: 一般社団法人大学女性協会 160-0017 東京都新宿区左門町 11-6 パトリシア信濃町テラス 101 電話 (03) 3358-2882 E-mail: [morita\\_prize@jauw.org](mailto:morita_prize@jauw.org)

## 2024 年度前期高エネルギー 加速器研究機構 物質構造科学研究所 放射光共同利用実験課題公募

高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所では放射光および低速度陽電子を利用する学術研究のための共同利用実験課題を公募します。応募方法: 実験課題申請システム (<https://pmsweb.kek.jp/k-pas/>) を利用した電子申請となります。募集期間: 2023 年 10 月 4 日 (水)~11 月 8 日 (水)。詳細については (<https://www2.kek.jp/uskek/apply/pf.html>) をご参照下さい。問合せ先: 高エネルギー加速器研究機構研究協力部研究協力課共同利用支援室共同利用係 電話 (029) 864-5126 E-mail: [kyodo1@mail.kek.jp](mailto:kyodo1@mail.kek.jp)

## 2024 年度前期高エネルギー 加速器研究機構 物質構造科学研究所 マルチプローブ共同利用実験 課題公募

高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所では放射光実験施設、低速度陽電子実験施設、中性子科学実

験装置およびミュオン科学実験装置の 4 つのプローブのうち複数を利用する学術研究のための共同利用実験課題を公募します。募集期間: 2023 年 10 月 4 日 (水)~11 月 8 日 (水)。詳細については HP (<https://www2.kek.jp/uskek/apply/multiprobe.html>) をご参照下さい。問合せ先: 高エネルギー加速器研究機構研究協力部研究協力課共同利用支援室共同利用係 電話 (029) 864-5126 E-mail: [kyodo1@mail.kek.jp](mailto:kyodo1@mail.kek.jp)

## 2024 年度ガラス研究振興 プログラム 研究助成の公募

ガラス産業連合会と (一社) ニューガラスフォーラムは、短期的な視点に捉われずにガラス分野の発展に貢献する可能性を秘めた研究提案をしていただいた若手の研究者に対して研究助成を行います。対象は、高専、大学および公的研究機関に所属する個人またはグループで、主たる研究者が 1979 年 4 月 2 日以降生まれであること (45 歳以下)。コース別募集で、[エキスパートコース] ガラス分野で研究されてきた方が、これまでの研究の中で芽生えた新しい問題意識を掘り下げるために、自身のこれまでの研究手法とは異なる方法でガラスの研究に取り組もうとするもの。[チャレンジコース] ガラス以外の科学・工学の分野で研究されてきた方が、これまでの研究で養った手法をガラスに適用することでガラスの研究に新しい視点を導入し、それと同時に自らの研究手法の適用範囲を広げようとするもの。1 件あたりの研究助成額は、300~900 万円/期間で、研究内容に応じて設定して下さい。研究期間は 2024 年 4 月からの 3 年間です。総採択数は 2~5 件。締め切りは 2023 年 12 月 15 日 (金) 必着。詳細は HP (<https://www.newglass.jp/kenkyu/2024/>) に記載していますので、ご覧下さい。連絡先: (一社) ニューガラスフォーラム ガラス研究振興協力会事務局 種田 E-mail: [taneda@ngf.or.jp](mailto:taneda@ngf.or.jp)

## “掲示板”欄への掲載申込について

### ①掲載対象

- ① “掲示板”欄への掲載申込みは、本会会員を対象とした化学に関連する内容に限ります。
- ② 掲載する内容は、研究助成金・補助金・賞などの候補者公募、求文献、不用品の贈呈・交換などです。
- ③ 同一原稿の掲載は1回に限ります。
- ④ 講演会などの行事の開催案内は掲載できません。本会の共催・協賛・後援を得て、“講演会・講習会”欄にご投稿下さい。

### ②字数制限と掲載例

- ① 原稿は600字以内で作成して下さい（英文は和文の0.55字で換算）。この文字数を超える原稿は、内容を省略し、題名、申込先のみを掲載します。
- ② 掲載例として本会ホームページに最新号のPDF版を公開しております。  
<https://www.chemistry.or.jp/journal/chemical-industry> より「化学と工業」の関連リンク「最新の掲示板」をご覧ください。

### ③原稿締切日と掲載月

- ① 原稿締切日は、毎月25日です。前月26日から当月25日までの投稿原稿は自動的に翌々月号に掲載となります。
- ② 通知された掲載月以外に掲載希望の場合は専用投稿フォーマットの“連絡事項”欄に明記して下さい。

### ④原稿作成と投稿方法

- ① 原稿は専用投稿フォーマットを使用して下さい。

#### ②専用フォーマット使用方法

- A) 数字、英文字は半角で入力して下さい。
- B) 機種に依存する文字の注意；機種に依存したり、インターネットでの転送を保証されていないため使用できない文字がありますのでご注意ください。

#### 【使用できない文字例】

- ・半角カナ；ｱｶｶﾝ, 記号（約物）；.。〔（/ 等
- ・ローマ数字；ⅠⅡⅢⅣ, 丸数字；①②③④

- C) テキスト上で表現できない文字（外字、作字）については使用を避け

て下さい。なお、人名・地名等の固有名詞で止むを得ない場合は●で代用し、投稿フォーマットの“連絡事項”に●印の指示を記入して下さい。

- D) 文書中で書式指定（上付き、下付き、イタリック体）を希望の場合は、タグ付け（HTML形式）をして下さい。

【見本】・上付； $P^{2+}$  →  $P <SUP> 2 + </SUP>$

・下付； $CO_2$  →  $CO <SUB> 2 </SUB>$

・イタリック；*italic* →  $<I> italic </I>$

- ③ 原稿の作成が終わりましたら、画面下の送信内容確認ボタンをクリックし、送信内容をご確認下さい。内容確認後送信ボタンをクリックすると投稿が完了します。投稿後、原稿の校正はできませんのでご注意ください。

- ④ 投稿が完了しましたら、受理通知メールが発信人宛に返信されます。受理通知メールにて、受付番号、掲載予定号、投稿内容が確認できます。受理通知メールが届かない場合は、正常に原稿が受理されていないおそれがありますので、必ず受理通知メールをご確認下さい。
- ⑤ 投稿された原稿は、編集部により所定の様式に整理して掲載いたします。

### ⑤送信後に大幅な訂正が生じた場合

- ① 原稿締切日（当月25日）まで；投稿フォーマットの“連絡事項”欄に先に投稿した際の受理通知メールに記載の受付番号、受理通知メール受信日と原稿差替えの旨を記入し再投稿して下さい。その際、E-mailにて三美印刷宛その旨をご通知下さい。

- ② 原稿締切日以降は原則として訂正はできません。

### ⑥問合せ

#### 【投稿に関する問合せ】

日本化学会学術情報部「化学と工業」誌事務局

E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp

#### 【修正に関する問合せ】

三美印刷「化学と工業」誌編集部

電話 (03) 6807-8212 E-mail: kakou-shi@sanbi.co.jp